

一般社団法人和歌山県作業療法士会 議事録

開催日時	令和3年6月13日(日) 10:50~11:30		
開催場所	WEB会議(ZOOM)		
会議名	令和3年度第2回理事会		
出席者	川 雅弘、中瀬浩司、明間順子、藤田康平、杉谷武人、西田裕希、鍵野将平、宮武和也、 藤田純、宮井良太、佐々木昌平、藤田講志、小島徹也(以上、理事) 桐竹清文、島 美加(以上、監事)		
欠席者	河村岳樹(以上、監事)		
定刻において議長より開会が宣言され、本理事会は理事13名の出席があり、 定款第31条における過半数の定足数を満たし、適法に成立している旨が報告された。			
議 長	川 雅弘	書 記	明間順子
議事概要	<p>議題1 報告事項</p> <p>1. 会長より</p> <p>2. 事務局・各部・委員会事業報告(4月~5月) および事業計画(6月~7月)</p> <p>議題2 検討事項</p> <p>1. 総合事業推進委員会より生活不活発病予防パンフレットNo.2について 地域リーダー及び副リーダーの会議にあげ、修正点を修正したものを印刷する予定。理事会で了承得られれば、印刷→配布する(予算:15000~20000程度)</p> <p>2. 認知症キャラバンメイト養成講座の人材派遣について(認知症の人の支援委員会)</p> <p>3. 認知症支援における人材育成事業の派遣システムについて(認知症の人の支援委員会)</p> <p>4. 生涯教育基礎ポイント 士会裁量分について</p> <p>議題3 その他</p> <p>1. 部員名簿作成のお願い</p>		
報告事項	<p>1. 会長より</p> <p>2. 事務局・各部・委員会事業報告(4月~5月)</p> <p>事務局</p> <p>○令和3年度正会員 新入会者23名、既正会員数450名、準会員1名 合計474名</p> <p>休会員14名</p>		

○財務部：財務会議・監査作業実施

財務マニュアル新しくなってますので、理事も確認ください

変更点：WEB 通信費

メールでやりとりしていたが、Google ドライブになりました。

※財務部マニュアル

Google ドライブ⇒理事会⇒理事共有データ⇒財務関係⇒財務マニュアル

財務マニュアルの最新版は右上に令和 3 年 5 月 16 日になっています。

各部委員会の財務書類を理事も確認ください

※各部委員会の財務書類

Google ドライブ⇒理事会⇒理事共有データ⇒財務関係⇒各部委員会財務書類

に財務書類入っていますので確認ください。

○福利厚生部：とくになし

学術部 ○会議開催

第 18 回和歌山県作業療法学会

テーマ：5 G ～挑む・支える作業療法～

開催日：2021 年 10 月 31 日（日）

会場：和歌山県立情報交流センターBig・U

7 月までに運営を会場かハイブリット開催かを検討中

本来企画していた企業とのコラボを検討していたが、実現に至らない

そのため、講師 2 名たてての内容に変更

講師：3D プリンタ 林先生（OT）

企業の中で働いている OT の方を検討中

予算範囲内で企画しなおしている

演題は 8 演題集まっている（目標 10 演題）

MTDLP ○第 1 回 MTDLP 基礎研修会開催

参加者が 8 名と少ない

今回より Google ドライブを使用予定

※始めた頃は加算条件となっていたので、初期は受講率が良かった

参加者が少ないのは？ 受ける必要性の広報が出来ていないか？

WEB 開催だからか？ 1 日開催なので参加しづらいという意見もあった

受講の必要性が伝わっていないというもある。

開催の方法をかえる必要があるか

⇒今年度 2 回目は、半日×2 日も考えてる⇒工夫して開催お願いします。

一般社団法人和歌山県作業療法士会 議事録

	<p>Zoom 録画配信等も利用しようかと考えている ⇒生涯教育制度としては録画配信はみとめられていない。 杉谷理事から佐々木理事へ現時点の規約等メールします。 ・ホームページにて MTDLP 事例登録サポート希望を募る予定</p> <p>教育部 ○生涯教育制度推進委員会 ・会議出席 ○認定作業療法士育成推進委員会 とくになし</p> <p>広報部 HP 等広報業務実施 会長より 今までも啓発については高校生に対して広報をしていた 会長が養成校に勤めてみて、高校生への啓発をしていると、作業療法士を知らない人が多い。医療関係に勤めたいけど看護師と悩んでいる等の人が多い。 また、高校の担任や進路指導の先生の意見が反映している。職業啓発のためには、高校生にするにはタイミングが遅い。大学でもオープンキャンパスや体験会のようなものもしている。啓発活動をするターゲットを中学生や小学生にする必要もあるか。 商業施設にて、多くの方に知ってもらうものも良いが。</p> <p>広報部委員会議では⇒作業療法の名前を知られていない。今年度作成するポスターは職業を知ってもらうものにした。 今後の啓発対象については今後検討していく。</p> <p>事業部 ・5月30日にスキルアップ研修を開催 参加者：24名 東京からの参加者あり インターネットで検索して見つけたとのこと 東京都士会に入会を確認し、参加許可した。 他府県からの参加⇒参加要件を記載必要 近畿内はOT協会○近畿内士会○ 近畿外は士会入会しているは関係ないところもあり。 twitter でも広報しているので県外参加が増える可能性もあり。 <u>今後他府県の参加要件について検討必要。</u> ・受託事業⇒和歌山市障害者いきいき事業への派遣</p>
--	---

一般社団法人和歌山県作業療法士会 議事録

	<p>制度対策部</p> <p> 情報収集実施</p> <p>障害保健福祉部</p> <p> ○子ども支援委員会</p> <p> とくになし</p> <p> WEB 会議開催予定 7 月</p> <p> ○認知症の人の生活支援推進委員会</p> <p> 会議開催</p> <p> 海南市より脳トレサークルの講師依頼あり</p> <p> 6 月の予定 講師 2 名派遣予定⇒延期となった。</p> <p> ○自動車運転と移動支援推進委員会</p> <p> 近畿作業療法連絡協議会 近畿 OT 自動車運転リハビリプロジェクト 会議参加</p> <p> 近畿 OT 自動車運転リハビリプロジェクトの一事業で、各府県の活動報告を配信したいと考えています。配信場所等は現在検討中</p> <p> 別紙報告書を作成したので確認ください。</p> <p>地域包括ケアシステム推進部</p> <p> ○総合支援事業推進委員会</p> <p> 地域ケア会議への専門職派遣</p> <p> 会議開催</p> <p> ○住環境・福祉機器支援推進委員会</p> <p> 相談 1 件あり、対応中</p> <p>圏域統括部</p> <p> ○リーダー育成推進委員会</p> <p> とくになし</p> <p>テクノロジー推進委員会</p> <p> 協議会へ参加</p> <p>第 42 回近畿作業療法学会運営委員会</p> <p> 実行委員会議開催</p> <p> 令和 4 年 6 月 12 日(日)に開催</p> <p> テーマ決定 かわる社会と作業療法 ~受けとめて前へ、前へ~</p>
--	--

一般社団法人和歌山県作業療法士会 議事録

検討事項	<p>1. 総合事業推進委員会より生活不活発病予防パンフレット No.2 について 地域リーダー及び副リーダーの会議にあげ、修正点を修正したものを印刷する予定。理事会で了承得られれば、印刷→配布する（予算：15000～20000 程度） 配布は地域リーダーから各地域包括支援センター等へ</p> <p style="padding-left: 2em;">別紙パンフレットで内容良いか確認ください⇒承認</p> <p>昨日明間理事が 47 都道府県委員会に参加 パンフレット配布について説明。その際にコロナ収束後にどのようにしていくのかを質問があった。奈良県はもう現在県にてパンフレットが配布されており、会として作成する意味はなくなったとのことで配布終了した。 和歌山についても今回はこのパンフレットの内容で配布は問題ない。 今後については、再検討。コロナ関係なく生活不活発病もある。認知症の部分についてはOTらしさもあり。ケア会議等で持っていきやすいので有難い ⇒今後については検討します。</p> <p style="padding-left: 2em;">和歌山は遅かった 今後タイムリーに出していけるようにしていきたい 和歌山県でもそういったものは出来ているのか？⇒HP 等で確認します。</p> <p>2. 認知症キャラバンメイト養成講座の人材派遣について（認知症の人の支援委員会）</p> <p>宝塚医療大学から県内の高校へ周知しており、依頼があれば委員会から派遣を検討。コロナウイルス感染症が落ち着けば県から企業向けのキャラバンメイト養成講座の依頼がある可能性がある。こちらも派遣を検討。派遣費用については会場までの交通費と派遣費用で良いか検討したい。</p> <p>キャラバンメイト 和歌山県⇒企業 市町村⇒住民対象</p> <p>三役会議での意見</p> <p>a)認知症キャラバンメイト養成講座人材派遣事業に会として協力するか？ ⇒内容検討後協力すると決定</p> <p>b)講師出来る方がどれくらいいるかのアンケート調査は実施したのか？いつするのか？ アンケート内容を作成しているか？まずはアンケート内容を出してください。 ⇒まだアンケート作成できていない。今後検討し、報告します。</p> <p>c)登録市町村でない場所でも講師できるのか？ ⇒確認します。</p> <p>d)講師をどれだけ用意できるのか？ ⇒委員の 8 名は講師可能</p> <p>e)宝塚医療大学として予算がついているのか？ ⇒ついていないとおもいます。不明。</p> <p>f)会の規約としては 1 回 4 時間未満 1500 円+交通費 （公共交通機関 自宅最寄り駅→会場）⇒協力するとなった後検討する</p> <p>マンパワーとしての問題ないか？委員で対応できるか？平日になるので、不安もある。 すべて派遣が可能か。地域ケア会議の派遣はかなり準備が必要であった 啓発としては良いため協力したいが委員の負担にならないか心配。 基本的には宝塚医療大学が行い、委員が手伝うという認識である。 共同開催？会にも協力依頼はきていない。大学の営利目的にならないか？ 佐々木理事 1 人では負担も大きい</p>
------	---

協力するかどうか決定するためにも説明する機会を設けてもらう⇒事務局長・中瀬

副会長

内容をきいて再度検討する。

3. 認知症支援における人材育成事業の派遣システムについて（認知症の人の支援委員会）

地域から認知症支援における派遣依頼に対応すべき人材派遣システムを構築したい。登録要件や人材育成の方法（別紙参照）について意見を頂きたい。

認知症アップデート研修①②③④

工夫集⇒事例を集める 住環境福祉機器で作成しているような認知症版を

動画配信を利用していく⇒アンケート提出で見たかを確認

埼玉県では⇒現場に行き、体験していきましょうというのがあった⇒座学ばかりになっている

人材育成というのがあると参加しにくいのではないかな？

それよりも認知症について深めるやプロになりませんか？といった方が参加しやすいのではないかな。派遣するというのはその後に協力してもらえるかを確認したらどうか？臨床を実際学びたいという人は多い

⇒研修会を開催するのは良い⇒研修会の名称を変更してみてもどうか

地域での認知症に関する派遣依頼に対しての派遣を考えている

⇒認知症カフェや海南市等

実際に派遣依頼はきているのか？⇒現時点は海南市のみ

研修開催はすすめて頂く。人材育成については今後検討

4. 生涯教育基礎ポイント 士会裁量分について

例年は、定期総会出席者に士会裁量分としてのポイントを渡していた。
士会裁量分を役員・部員・委員等士会活動をして頂いている方にしてはどうか？
⇒承認

年度末に名簿提出する必要あり。

どういう人に渡すかある程度基準が必要ではないかな？

役員・委員長・部員・委員は決定

県学会運営委員は？ 地域ケア会議派遣者は？

※各委員会で基準を決め、名簿を作成する。

年度末に士会裁量分についての名簿を事務局が作成する

一般社団法人和歌山県作業療法士会 議事録

その他	<p>1. 部員名簿について</p> <p><u>部員名簿作成をお願いします。(次回理事会まで)</u></p> <p>2. 研修会開催基準・運営指針について</p> <p>現在感染状況について和歌山県の基準が出されていない</p> <p>現在作成したものの基準では当てはまらないため、政府が出しているものを基準にしてはどうか</p> <p><u>次回の理事会までに基準の見直しを行う。</u></p>
-----	---

議事録署名 代表理事 (印)

監事 (印)

監事 (印)

備 考	<p>令和3年度第2回理事会</p> <p>1. 開催日時：令和3年8月21日(土) 18:00～</p> <p>会場：Zoom</p> <p>予定議事：6-7月事業報告・8-9月事業計画</p> <p>その他検討事項</p> <p>理事会参加者：理事、監事予定</p>
-----	---